

白石町人口ビジョン 参考資料

平成 27 年 11 月

佐賀県白石町

目 次

(1) 独自推計における年齢3区分別推移のグラフ.....	2
(2) 世帯数の推計.....	3
(3) 就業人口の推計.....	4
(4) 男女別推計.....	5
(5) 消滅可能性都市に関する判定.....	5
(6) 佐賀県集計による合計特殊出生率.....	6

(1) 独自推計における年齢3区分別推移のグラフ

人口推計に基づき、年齢別の人口を見ると以下のとおりとなります。

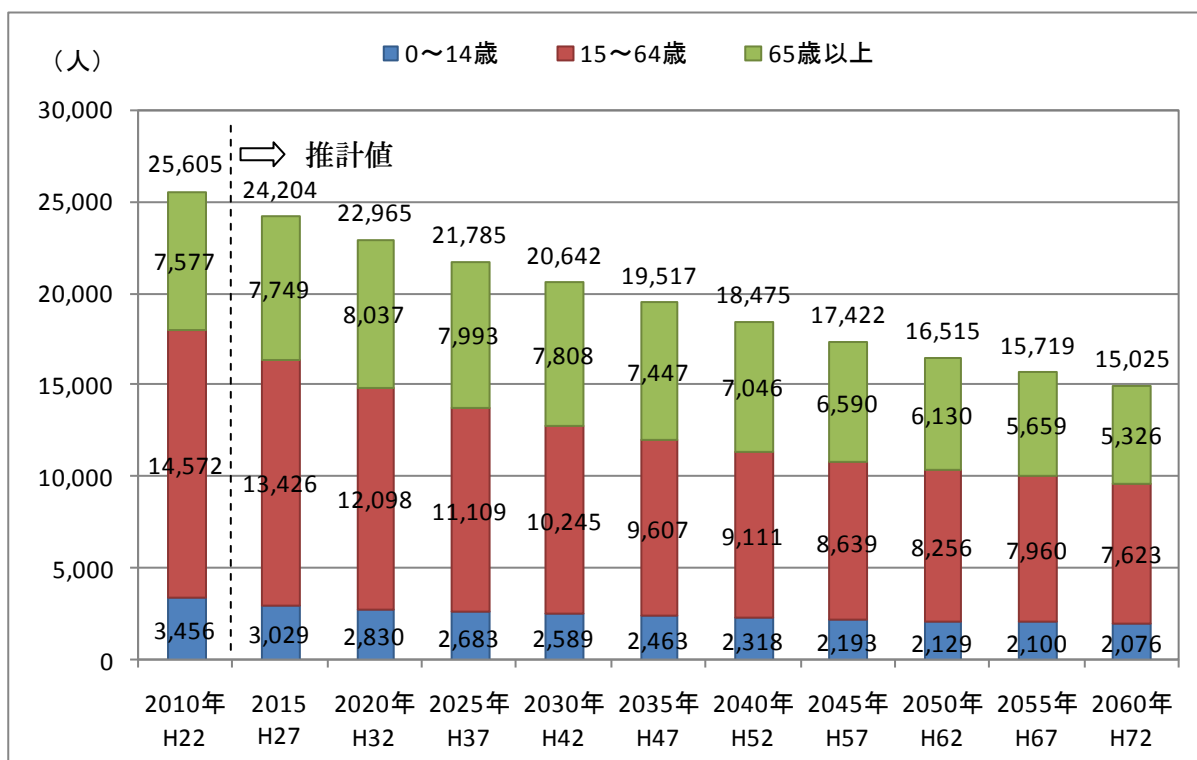


図 1 年齢3区分の推移

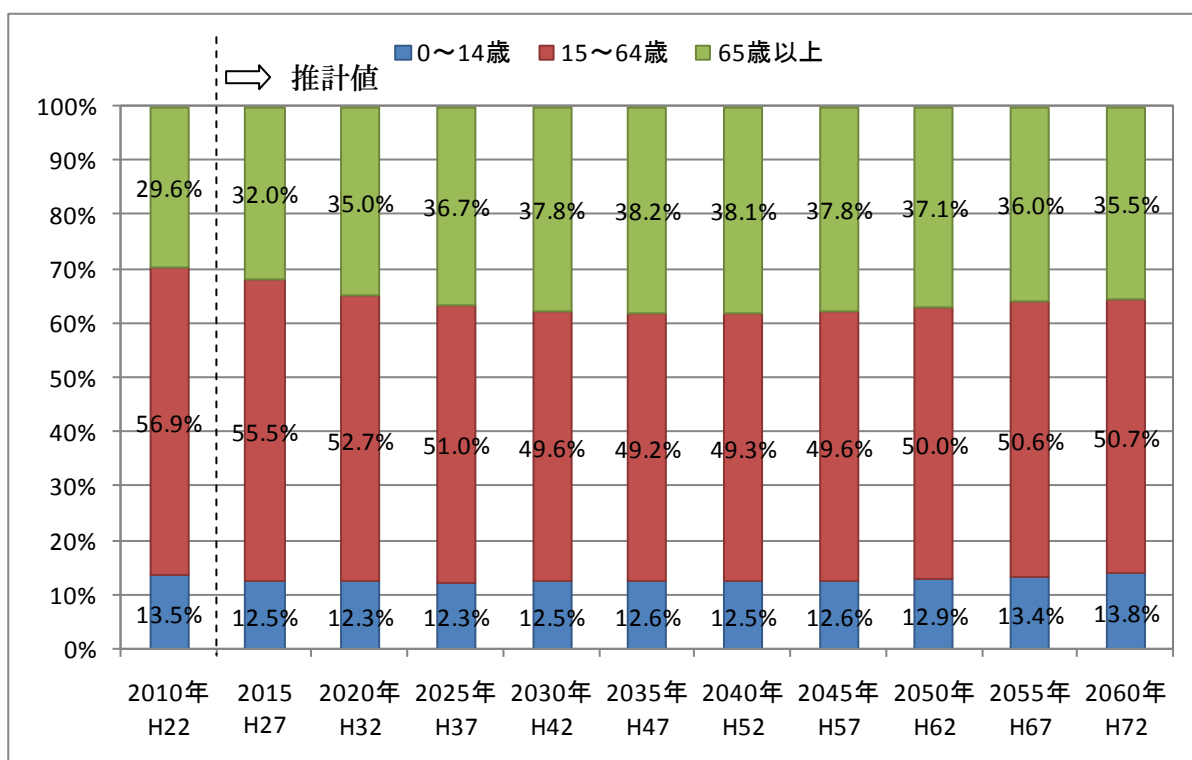


図 2 年齢3区分の割合

(2) 世帯数の推計

世帯数の推計結果は以下のとおりとなります。

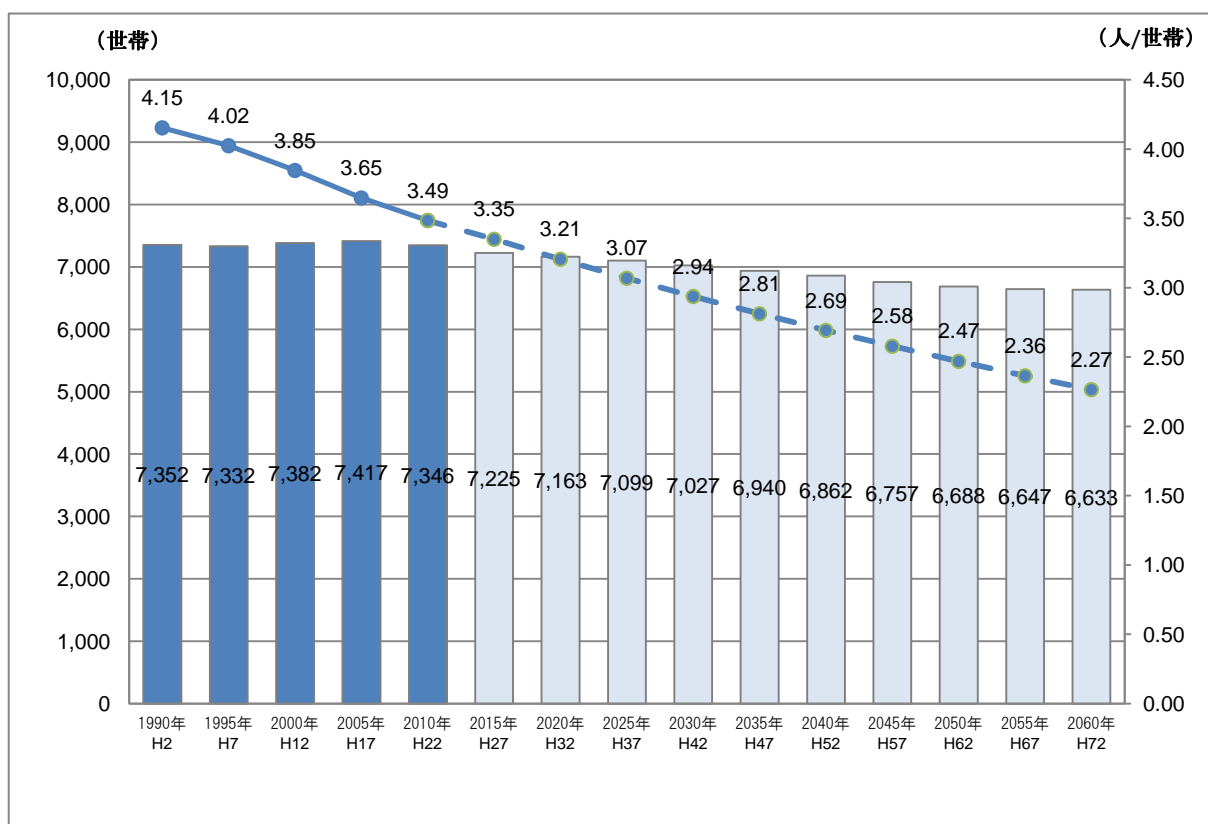


図 3 世帯数推計

※推計式は、世帯人員について関数式：べき乗 $y = a x^b$ を採用し算出した。
 (a=1.16419,b=-17.7167)

(3) 就業人口の推計

就業人口の推計は以下のとおりとなります。

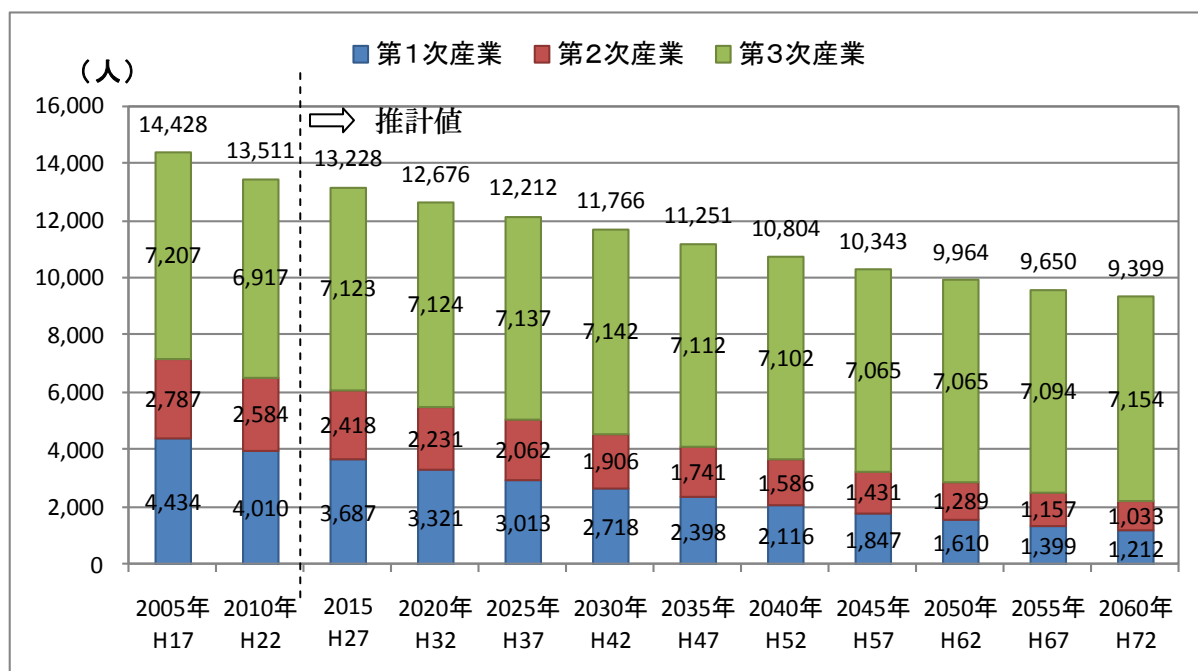
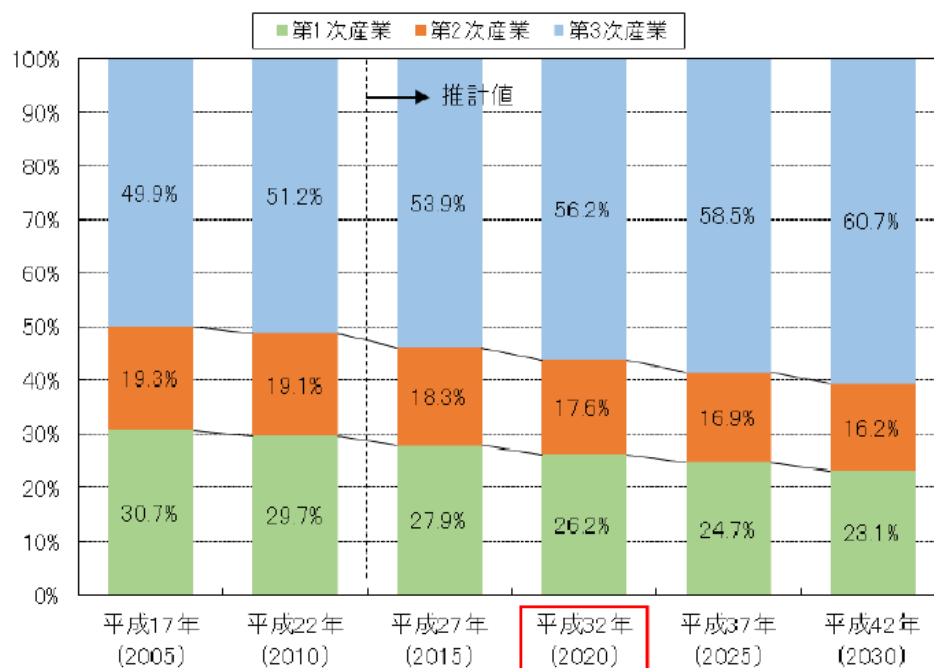


図 4 就業人口推計値

※各産業人口について、独自推計の人口をもとに総合計画での構成比の推計を計算式に当てはめて算出した。

【図: 就業者人口の構成比の推計】 (※H22年までは国勢調査実績値、H27年以降が推計結果)



参考資料：総合計画 就業者人口の構成比の推計

(4) 男女別推計

人口推計に基づき、男女別の人口については、以下のとおりとなります。

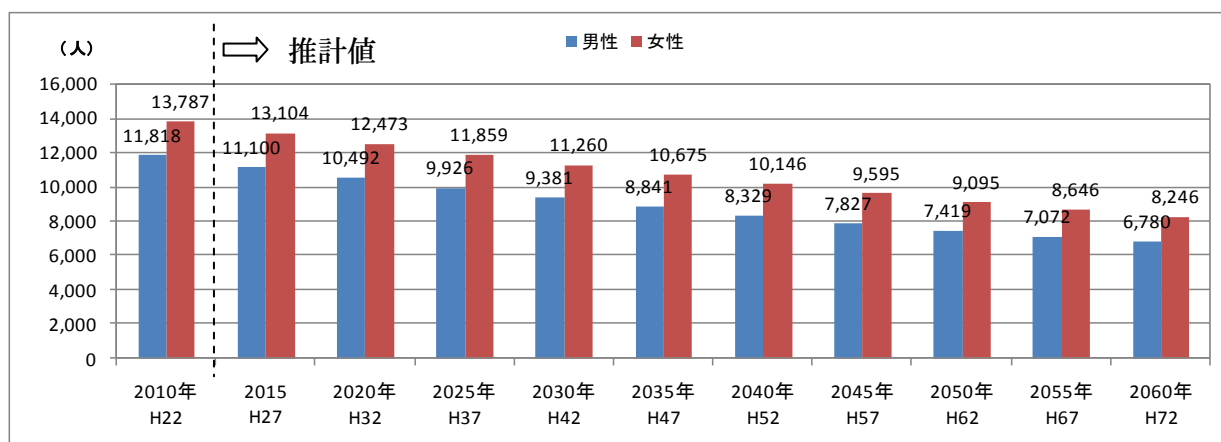


図 5 男女別推計値

(5) 消滅可能性都市に関する判定

日本創成会議が平成 22 年（2010 年）から平成 52 年（2040 年）までに 20~39 歳の若年女性人口が 5 割以下に減少する市町村を「消滅可能性都市」と定義しています。

独自推計において 2010 年から 2040 年の 20~39 歳女性割合の減少率は 34.9%となりますので、「消滅可能性都市」となる可能性はなくなります。

表 1—20~39 歳の若年女性人口

人口推計	2010 年 (人)	2040 年 (人)	減少率 (%)
独自推計	2,441	1,590	34.9%
日本創成会議推計	2,441	1,205	50.6%
社人研推計	2,441	1,506	38.3%
県の推計	2,441	1,901	22.1%

※減少率 (%) = (2010 年 20~39 歳の若年女性人口 - 2040 年 20~39 歳の若年女性人口) / 2010 年 20~39 歳の若年女性人口 × 100

(6) 佐賀県集計による合計特殊出生率

佐賀県の集計による白石町の各年の出生率と合計特殊出生率は以下のとおりとなります。

表 2-白石町の合計特殊出生率

西暦(年)	和暦(年)	合計特殊出生率	出生数
1983	S58	2.04	407
1984	S59	2.24	430
1985	S60	2.16	413
1986	S61	2.02	387
1987	S62	1.98	384
1988	S63	1.91	354
1989	H1	1.86	337
1990	H2	2.11	371
1991	H3	2.06	358
1992	H4	1.76	296
1993	H5	1.76	284
1994	H6	1.92	305
1995	H7	1.80	277
1996	H8	1.85	284
1997	H9	1.96	292
1998	H10	1.67	244
1999	H11	1.64	234
2000	H12	1.78	246
2001	H13	1.62	218
2002	H14	1.46	194
2003	H15	1.80	235
2004	H16	1.57	203
2005	H17	1.48	180
2006	H18	1.88	235
2007	H19	1.73	212
2008	H20	1.71	209
2009	H21	1.51	176
2010	H22	1.74	206
2011	H23	1.65	190
2012	H24	1.48	163
2013	H25	1.58	167

※合計特殊出生率は、各年齢ごとではなく、5歳ごとの年齢階級別に算出することとなるため、以下のようになる。

合計特殊出生率＝

母の年齢階級別出生数（15～49歳）×5/年齢階級別女子人口(日本人人口)